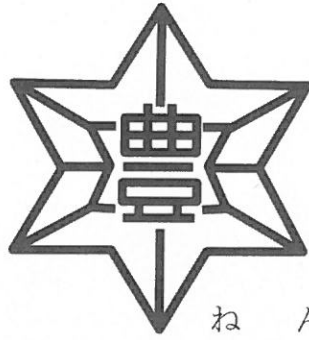




ね ん ど

2020年度

が く し ゅ う

て び

学習の手引き

ね ん せ い

1年生

も く じ

～目次～

が く し ゅ う て び せ つ め い

学習の手引きの説明 ・ ・ ・ p. 2

ほ ご し ゃ

保護者のみなさまへ ・ ・ ・ p. 2

はじめに ・ ・ ・ p. 3

か く き ょ う か

各教科より ・ ・ ・ pp. 4-13

ひ ょ う か

評価について ・ ・ ・ pp. 14-15

～学習の手引きとは～

この学習の手引きは、各教科の先生が、①授業への取り組み方、②学習方法、

③評価(全教科まとめて最後に記載)について説明したものです。授業は学校生活の多く

の時間を占めています。各教科の授業に積極的に取り組み、自分の力を伸ばしまし

よう。授業で学習した内容を身につけるためには、授業以外での学習も必要です。マ

ラソン選手が、長い距離を走ることができるのは、毎日、走るトレーニングをしている

からです。勉強も同じです。毎日、学習する習慣を身につけると、集中力が続くよう

になります。日々の努力は「なりたい自分」になる第一歩です。

保護者のみなさまへ

①「中学校では、宿題がないのですか」とご質問を受けることがあります。中学校にも

宿題はあります。ただし、小学校とは異なり、提出する(教員が点検・評価する)

までの期間が長く、一度に提出する量が多くなる傾向があります。そのため、

計画的な学習が必要になります。

②豊川中学校は、中間テスト・期末テストに関するプリントを、原則、2週間前に

配布いたします(休日や行事等の関係で、多少の前後はあります。配布後に豊川

中学校メールマガジンでお知らせします)。提出物ものせております。ご家庭でも、

テスト勉強および提出物の応援をよろしくお願いいたします。

～はじめに～

1、生活のリズムを大切にしよう。

- ① 早寝早起きをこころがけよう。
- ② 食事をきちんととりましょう(脳はエネルギーを多く必要とします)。
- ③ 持ち物・提出物は前の日に準備しよう。

2、積極的に授業にとりくもう。

授業の準備	学びのルール
① 授業の準備をしてから休憩する ② チャイム着席をする ③ 服装をととのえる ④ あいさつをしっかりする ⑤ 最初の指示をしっかり聴く	① 取り組んでわからないときは、 班の人に「ここどうするの?」ときく ② きかれたら、ていねいに説明する

授業では、わからないことがあるのはあたりまえです。人には得意・不得意があります。授業の準備と学びのルールを大切にしましょう。

3、家庭学習の習慣をつけよう。

- ① 必ず、宿題(提出物)に取り組もう。
- ② 集中できる環境づくりを意識しよう。
→テレビや動画を見ながらの学習は、記憶に残りにくい。
- ③ 毎日、学習しよう。
→宿題がなくても、自主勉強ノートを使って学習しよう。
- ④ 自分にあった学習の方法を見つけよう。
→学習方法がわからないときは、教科の先生に相談しよう。

1. 教科書をくり返し音読する。

予習としても、復習としても、テスト勉強としても、とても有効です。

2. 漢字を覚えて、使えるようにしよう。

毎時間漢字テストをします。満点を目指して宿題や練習を頑張りましょう。読みかたも必ずいっしょに覚えましょう。自主勉ノートも使いましょう。宿題は家庭でするのが基本です。しっかり学んで普段の生活で活用できるようにしましょう。

3. プリント類の整理

プリントはすべて完成させて、必ずノートに貼るか、ファイルにとじましょう。プリントは一人1枚だけしか配りません。なくしても再発行しません。名前を書くことを習慣にしましょう。

4. 読書をしなさい。

国語力の基本は文章を読むことです。小説や新聞など、文章をたくさん読んでください。できるだけ「この文章は何を伝えようとしているのか」を意識して読みましょう。それがあなたの力になります！

テスト前勉強では

- 1 漢字プリントを覚える。(読み・書き両方できるように)
- 2 授業のプリントを見直す。
- 3 授業ノートを見直す。
- 4 教科書を覚える。
- 5 古文や俳句・短歌は必ず覚える。

他にもやり方はいっぱいありますが、何からやればいいかわからない人は、とりあえずこれだけはやりましょう。何より大切なのは「授業に積極的に参加すること」です。一回一回の授業を大切に、やるべきこと(読む・書く・考える・話し合うなど)を一生懸命やり、積み重ねていきましょう。一緒にがんばりましょう！

1、授業を大切にしよう。

- 先生の話を友だちの意見を集中して聴こう。
- 自分で積極的に調べ、わからないときは班の人に「ここどうするの」ときこう。
- プリントは必ずファイルにとじよう。

2、授業の準備をしよう。

- 前の日に、持ち物・宿題を確認しよう。
- 休けい時間に、授業の準備をしよう。
- ☆地理:4点セット(ファイル・教科書・地理のワーク・色鉛筆)
- ☆歴史:4点セット(ファイル・教科書・歴史のワーク・色鉛筆)
- *自分や友だちと調べたり、考えたりするので、忘れ物があると、自分・友だち・先生のみんなが困ります。もちろん自分がわからなくなります。

3、自主勉強もしよう。

社会科は特に復習が必要な教科です。練習問題や問題集を何度も解こう。

- ①まず解いてみよう。
- ②少しずつ答え合わせをしよう。
- ③わからないところを問題集の説明・解説や教科書で調べよう。
- ④それでもわからないところは印をつけて友だちや先生に質問しよう。
- ⑤くりかえし取り組もう(まずは言えるようにして、次に書けるようにしよう)。
- ⑥勉強した内容を、わかりやすく人に説明してみよう。

4、テストについて

- テストは、授業の内容・教科書・問題集、時事問題から出題します。
- *教科書や授業で勉強した言葉を漢字で書けるようにしよう。

5、社会科が得意な人、苦手な人へ。

- 社会科に関するテレビ番組を見たり、本を読んだりしよう。
- ニュースを見たり、新聞を読んだりしてみよう。
- *歴史が苦手な人は、図書館で、日本の歴史の漫画を借りて読んでみよう。

すうがく ちから
数学の力をつけるためのポイント



① **授業を大切にする**

☆ **忘れ物をしない。**

☆ **説明を聴くとき、班で授業プリントを仕上げるときの区別をつける。**

授業の3点セットは《目・耳・心》！しっかり説明を聴こう。授業プリントは、班で協力して理解しながら仕上げましょう！

☆ **わからないことは質問する。**

説明を聞いてわからなかったことはそのままにしないで、班の人や先生にきいてその日のうちに理解することが大事！

② **家庭学習をがんばる（復習を中心に！）**

☆ **宿題を必ずする。**

授業で習ったときには分かっているつもりでも、何もしないでいると時間がたてば忘れてしまうものです。宿題はその日に習ったことをもう1度復習するためのものです。必ず自分の力でやりましょう。

☆ **リピーターの習った範囲の問題を解く。**

解答を見ないでまず自分の力で解いてみる。結果よりも途中の考え方や計算が大切。やった後はすぐに答え合わせをする。（せっかくやつても、やりっ放しでは、自分の間違いに気が付かない。）間違えたものはすぐにやり直して、どこで間違えたのかを確認しましょう。

☆ **自主勉に取り組む。**

さらに自主的に学習をしよう。自主勉ノートに、学校で学習をしたことをもう1度整理したり、教科書の問題をやることも大切です。テスト前には自主勉プリントを用意するので、活用しましょう。

0. 科学を意識する（心構え）

生活の中には、たくさんの科学が溢れています。素朴な疑問や不思議に思う事が、理科では大切な力です。理科では、たくさん実験をしようと思っています。楽しく前向きに取り組んでください。どうしてこの結果になるのかを考えたりします。日ごろから「どうして？」と疑問に思ったり、その疑問について調べたりしてみましょう。



1. 今までの内容も併せて振り返る。

中学校で習う理科は、多くが小学校の理科で習ったことを、もう少し専門的に習うのです。習ったことを使って、より深く学ぶようになります。今習ったことは、昔習ったことに繋がっていることがたくさんあります。習った時に、併せて復習をする癖をつけてしまいましょう。

2. 暗記に頼らない

暗記が必要な単元や単語もあるのは事実です。ただ、みんなの独創的な発想や、経験からくる説明の方が理科には必要です。知識を知恵にかえて、説明する能力を発揮するみんなに期待しています。

3. わかりやすく説明をする

理科は、簡潔に説明できるようになることが最終目標です。なぜなら、説明できるようになるには、知識を自分に取り込んでいないとできないからです。そして、この行為が応用問題を解くカギになります。

☆テスト前の勉強方法☆

①授業プリント → ②教科書 → ③白プリ & 学習整理

授業プリントでテスト範囲を簡単に思い出しましょう。教科書に載っている単語を知っているかチェック。白プリや学習整理で、分かっている度チェック。

※ 最後に…わからない所は、聞きましょう。

そうやって、少しずつわかる場所を広げましょう。



1. 授業について

「チャイム着席を守る」、「持ち物すべての準備を休み時間内にする」

「話をしっかり聞く」という基本的なところをまず大切にしよう。

また、配られたプリントは必ずファイルに挟んでいこう。

そして、一番大切なことは、授業に意欲的に積極的に取り組んでいこう！

2. 家庭学習・期末（筆記）試験対策について

試験では、教科書や配布プリントの内容を出します。プリントが配られたら、その都度取り組んだり、復習しておくことと試験前に焦らなくて済みます。また、そのタイミングでわからなかったことは教科書で確認したり、積極的に質問するようにしよう。提出物は必ず期限を守ろう。

3. 実技試験について

授業内に歌唱や器楽の実技テストを行います。

歌唱対策！

授業中に口を大きく開けて歌う。自信がなければ小さな声でもOK!のどを歌うモードに慣らしていく、というのが大切です。そうすると、のどがみんなの声に共鳴して少しずつ歌えるようになっていきます。歌うときはにこやかに♪

器楽対策！！

授業中に繰り返し吹こう。難しいフレーズは、短くして、ゆっくり、繰り返し練習しよう。いきなり全部吹こうと気負わなくても大丈夫です。小さなことからコツコツと。

4. 最後に

テレビやラジオでやっている音楽番組にチャンネルを合わせてみよう。

色々なジャンルの音楽をたくさん聴くことで、世界が広がりますよ。

持ち物

- ・中学生の音楽 1
- ・中学生の器楽
- ・ファイル
- ・アルトリコーダー
- ・筆記用具



1. 学習する内容

学習する内容には、大きく分けて『絵画』『デザイン』『工芸』『彫刻』などの作品を『表現』する分野と『鑑賞』して学ぶ分野があり、1年生では週1.3時間です。2・3年生になると週1時間になります。

回数が少ない分、ひとつひとつの取り組みを大切にしてほしいです。

2. 授業を受ける上での心構えと家庭でできること

- ① 上手く描こう、上手く作ろうではなく、人と違ったもの（個性的）を！という気持ちで、積極的に授業参加しよう！ たくさんの作品に触れることで、感性が豊かになります。友達同士で、または、家族で美術館・博物館にぜひ足を運んでほしいと思います。本物に触れることが大切です。画集をパラパラ観るのもいいですね。また、身近な仲間の作品から学ぶこともできます。
- ② 作品完成までの過程を大切にして、その時間の目標を明確にしよう！
手の遅いことは、悪いことではありません。でも、期限を守らないことは、いけないことです。期限を守って提出しよう！
- ③ 授業への集中力と持続するための意志が大切です。そのためにも人の話を聴く力をつけよう。
- ④ 準備物をしっかり用意しよう！
- ⑤ 自分の作品、仲間の作品を共に大切にしよう！持ち帰った作品は、部屋に飾ったり、実際の生活の中で使ってみよう。

3. 評価について

完成作品のみで評価するわけではありません。完成までの過程（下描き提出・途中提出があります。）・授業への取り組み（チャイム着席・忘れ物・美術ファイルなど）・ペーパーテストなども含み、総合評価とします。

4. 美術の教科でつけてほしい力

- ① よさや美しさに向かおうとする心
自分の思いを深めたり感覚を研ぎ澄ませたりしながら、よさや美しさを考えて、表したり感じ取ったりし、伝え合うことができるようにしよう。
- ② 失敗を乗り越える力
何度失敗しても次の方法を考え、挑戦する。制作をしながら、失敗を乗り越えるたくましさをつけてほしいと思います。



じゅぎょう

授業について

- 実技では、体操服、体育館シューズ。保健では、教科書2冊、ファイル忘れず授業に参加しよう。
- 1人1人の「やる気」が大切です。何事にも一所懸命取り組みよう！
- 協力や学び合いをしながらみんなで上達していこう。
- 更衣を早くすませて授業に遅れないようにしよう。
- 授業中は集中し、緊張感をもって活動し、ケガや事故に気をつけよう。
- 苦手な種目や苦しいことから逃げずにがんばる力を身につけよう。
- 見学の時は、保護者の方に生徒証明書の連絡欄に理由を記入し、印鑑を押してもらい、提出して下さい。
- 原則、見学者も体操服に着替えましょう。
- 見学の時は事前に先生に報告し、見学者カードを記入して、提出して下さい。

㊦ 体操服の下に長袖のアンダーウェアの着用は認めません。

かていがくしゅう

家庭学習について

- 自分の健康管理をできるようにしよう！
- ① 適度な睡眠をとる。目安は7時間～8時間。(早寝・早起き)
- ② 毎朝かかさず朝食を食べよう。
- ③ バランスの良い食事。(好き嫌いをなくす。間食しすぎない)
- ④ 適度な運動をする。
- 健康、スポーツに関するテレビを見たり、記事、本などを读んだりして自分の生活や体力づくりに役立てよう。

テストについて

- 1学期末、2学期末、学年末の定期テスト(ペーパーテスト)があります。
- 内容は、授業プリント、授業中の板書、教科書から出題します。

* 苦手な種目、得意な種目は人それぞれです。できないことは恥ずかしいことではありません。この1年で自分の得意種目を増やしましょう。

＜技術分野＞

今年度の技術は、2学期から3学期にかけて、1年生は木材加工を行います。技術は実技科目なので、勉強だけでは終わらず、実践(実際に作ったりすることがある)教科になります。得意な人は、是非友達に力を貸してあげてください。ただし、約束があります。

「手伝ってと言われたことだけ、手伝う。」です。もしかしたら冷たく聞こえるかもしれませんが、自分が、今から一生懸命に木を切ってみようと思っている所に、「やったるよ！」と言って、横からノコギリをとられて、切られたら、どう思いますか？？気持ちが下がりませんか？？

手伝って欲しい時に、手伝って欲しいことだけを手伝えるのは「大人な証拠」です。皆さんの大人度に期待しています。

テスト勉強について。①・②・③の順番で勉強をしてください。

- ① しっかり授業を聴く。
- ① プリントに出てきた、重要語句(大事な言葉)を覚える。
- ② 教科書の範囲にある太文字を覚える。
- ③ ①と②も語句(言葉)の説明ができるようにする。

＜家庭分野＞

今年度の家庭科は、1学期から2学期にかけて1年生は「家族・家庭と子どもの成長」と「衣生活と消費生活」を行います。家庭科は実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な知識及び技術を習得します。

家庭科では、機器類、刃物類、電気、ガス、火気などを取り扱って実習するため、安全に気をつけて取り扱うよう注意してください。

テスト勉強について。①・②・③の順番で勉強をしてください。

- ① しっかり授業を聴く。
- ① 教科書をよく読み理解する。
- ② 教科書の範囲にある太文字を覚える。
- ③ プリントの復習をする。

1 年 生 英 語

英語は復習が大切！

- ①授業に集中 特にペアや班学習での音読練習を大切にしよう。
 ②自主勉ノートを中心に前向きな気持ちで家庭学習に取り組むことで
 メキメキ英語力がアップします。

A: 授業編

- ①先生の口元を見て、よく音を聞こう
 ・・・・耳をすませて、どんな口のかたちで音が出ているのか観察しよう。
 ②くり返し、まねして言う練習をしよう
 ・・・・単語でも文でも歌でもまずは口まねからスタート。
 ③教科書などの文を大きな声で何度も読もう・・・先生や音声モデルのあとに
 ついて大きな声で読み、身体にリズムをしみこませる。
 ④何度も書く練習をしよう・・・授業中ノートに英語を書く時は心の中で
 発音しながら書いて
 つづりを覚える。書かないと覚えられません。
 ⑤まちがいを気にしないで表現しよう・・・まちがうのは当たり前。ペアや
 班の活動でも、英語をはずかしがらずにどんどん使いましょう。
 ⑥実際に使っていくのが英語力アップの基本です。

B: 家庭学習編

- ①宿題などをする時も授業を思い出し、単語・英文など声に出して何度も
 繰り返しながらかく練習をしよう。
 ②宿題は最低限の課題。さらに自主勉ノートを使って、学習を確実なものに
 していこう！
 例えば・・・1) 単語や文を覚えるまで何回も練習する。
 2) 授業で習った表現を使って自己表現にチャレンジしてみる
 3) 問題集でまちがったところをもう一度解いてみる。
 4) 授業で習ったことをまとめる
 5) 教科書の英文をもう一度自分で訳してみる・・・などなど

(自主勉強ノートについて詳しいことはプリントや授業で紹介しています)

自主勉強ノートのいいところは、

- ★自分で「自分はここが弱い!」という課題を選んで取り組めるところ
 - ★自分に合った分量を自分自身で決めて取り組めるところ
 - ★前向きな気持ちで、楽しみながら取り組めるところ
 - ★イラストや写真を使って、ノートを工夫して学習を楽しめるところ
 - ★がんばればがんばるだけ結果が出て、英語力がぐんぐんついていくところ
 - ★みなさんの勉強方法を見せてもらってアドバイスができること・・・
- などなどたくさんあります!

③チャンスを見つけて、生の英語にどんどん触れよう

- ・・・映画を英語(日本語字幕)で見してみる。洋楽を聞いてみる。

意外とわかる単語があるかも。

チャンスはたくさんあります。自分の興味あるところからはじめてみましょう。

Let's enjoy English!!

